下地別施工の仕方

ビニールクロス

◎ そのまま塗れる

汚れは家庭用洗剤で拭きとってから施工する。タバコのヤニなどでひどく汚れている場合はシーラー処理してから施工する。
クロスの剥がれは木工用ボンドでくっつけてから。裂け目がある場合は、裂け目に木工用ボンドを詰める。

石膏ボード

◎ そのまま塗れる

割れ防止のため、ボードの継ぎ目をメッシュシートを貼り、パテでメッシュを隠してから施工する。
ビス穴の凸凹もパテで平滑にする。
ハイクリーンボード（ピンク）の上に施工する場合は、色透けに注意して厚めに塗る。

砂壁・土壁

○ そのまま塗れる

ひとりで塗れるもんの水分を吸われてしまわないように、砂壁・土壁を事前に霧吹きで湿らせてから施工する。
触ってボロボロ崩れるような痛み方の場合は、シーラー処理してから施工する。

ベニヤ

○ シーラー処理後、施工

アク止めのためシーラー処理をしてから施工する。
継ぎ目がある場合はメッシュテープを貼り、パテで平滑にする。

モルタル

○ シーラー処理後、施工

アク止めのためシーラー処理をしてから施工する。
凸凹の不陸がある場合はパテで平滑にしてから施工する。

繊維壁

○ シーラー処理後、施工

シーラーで固めてから、または、剥離後に施工する。
崩れて凸凹の不陸がある場合は、シーラー処理してからパテで平滑にして施工する。

ペンキ

◎ そのまま塗れる

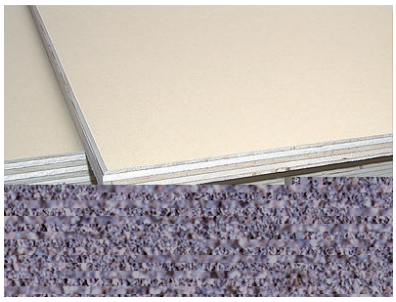
凸凹の不陸がある場合は、パテ、または、ひとりで塗れるもんを擦りつけるように下塗りしてから、上塗りする。

しっくい

◎ そのまま塗れる

重ね塗りをした際に気泡が出てくる場合は、気泡をすり潰すように擦りつけながら、何度か塗りつける。

紙付ベニヤ（クロス下地用合板）



× 施工できません

ひとりで塗れるもんの水分で、紙付ベニヤのライナー紙の剥がれ、浮きが起こる場合があり施工できない。